

月刊 まち・コミ 2008年12月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>
 2009年1月17日の5:46に、犠牲者のご冥福をお祈りいたします。
 お祈り後は、まち・コミ御蔵事務所にて、旧交も温めていただければと思います。
 我々も皆様の近況を、いろいろお話を聞かせていただければ幸いです。
 スタッフ一同お待ちしております。



● 今月の注目記事 ● P1～P3 「御蔵 まちづくりの歩み 2007年1月～2008年3月」

本年は大変お世話になりました。来年もよろしく願いいたします。

御蔵 まちづくりの歩み - 2007年1月～2008年3月 -



11月号に引き続き、年表と写真でまちコミの活動と御蔵を振り返ります。
 2007年1月～2008年3月は、過去のまとめをし、発信できるように準備する作業や、震災の体験や教訓を伝えることに力を入れる期間となりました。



▲07年2月23日
 JICA イラク研修受入 (日本NPOセンター)



▲08年3月12日 糸魚川東中学校出張講演
 (大阪の宿泊先へ)

【07年】	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	7	7	7		
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	14	14	14	17	19	19	23	23	5	9	9	10	11	12	25	4	14	14	16	20	9	9	10	10	13	17	17	20	21	22	25	30	31	8	11	14	18	3	6	7

出石市民農園収穫祭(そばめし隊交流)

方法とは「講演

大震災に学ぶ、地域住民の連帯意識を高める

(社)多治見青年会議所講演会「阪神・淡路

大阪経済大学「地域文化論」講義

まち・コミ運営委員会(神戸)

愛知県 名古屋市中区立天神山中学校修学旅行受入

松本市役所島内出張所研修受入

神奈川県相模原市立相原中学校修学旅行受入

岐阜県 美濃加茂市立西中学校修学旅行受入

静岡県 静岡市清水水庵原中学校修学旅行受入

岐阜県 岐阜市藍川北中学校修学旅行受入

愛知県 名古屋市中区立日比野中学校修学旅行受入

シアトルのNPOの森口富雄氏受入

高知県 高知市立天津小学校修学旅行受入

岐阜県 松倉中学校修学旅行受入

岐阜県 岐阜市立加納中学校修学旅行受入

富山県 富山市立大泉中学校修学旅行受入

千葉県 船橋市立葛飾中学校修学旅行受入

神戸国際大学「市民参加論」講義

富山県 高岡市立芳野中学校修学旅行受入

神戸国際大学「NPO論」講義

富山県 高岡市立五泉北中学校修学旅行受入

新潟県 五泉市立五泉北中学校修学旅行受入

第8回百聞くらぶ(道場洋三さん)

愛知県 山田組研修受入

NPOみやざき研修受入

出石市民農園施設完成イベント そばめし隊交流

新潟県 新発田市第一中修学旅行受入

ヒアリング報告交流会

ちづくりは今 自分たちからできること

第18御蔵学校「阪神・淡路大震災12年、復興ま

ちづくりは今 自分たちからできること

専修大学調査報告交流

まち・コミ運営委員会(神戸)

東大阪商店街会長打ち合わせ

宮城県社協講演

JICAイラク視察受入(日本NPOセンター)

東京災害ボランティアセンター視察受入

東京都港区講演

ろうそく法要

復興塾視察受入

関西学院大学災害復興制度研究所シンポ参加

慰霊法要



▲07年3月25日
出石市民農園施設完成イベント

◆07年1月~3月◆

町づくり協議会解散を受け、まち・コミでは外部関係者のみなさまへ、経緯と今後の方針を報告をする時間を多く取ることになりました。3月の御蔵学校は「復興まちづくりは今」というテーマで開催。御蔵の報告とともに、専修大学大矢根淳教授には、過去の災害に学ぶ復興まちづくりについてお話しいただき、神戸市内の真野地区と西須磨地区からもゲストを招き、地区の状況を報告していただきました。まちづくりの継続性について話し合いました。

2005年2月から支援活動を続けてきた、出石市民農園にて「鳥居やすらぎ市民農園」とレストラン施設「鳥居の里」は3月に完成イベントを迎えました。神戸からも多くの方がお祝いに駆けつけ、長田名物そばめしを提供しました。



▲07年4月14日 御蔵百聞くらぶ

◆07年4月~7月◆

古民家移築自治会館を核とし、地域のみなさまに文化を身近に感じていただく機会づくりを作りたいと企画した「御蔵百聞くらぶ」。毎回多くのお客さんにお越しいただき、好評を博しましたが4月の開催で、企画当初目標であった8回開催に達し、一旦終了とさせていただきます。コーディネーターの橋本正樹さんにご尽力いただき、ゲストのみなさまには無理を聞いていただき、おかげさまで盛大に開催することができました。

まち・コミは、多くの研修や講演のご依頼をいただく中で、この年度からは特に、大学での講義依頼をいただくことが増えてきたように思います。

大学生のみなさんにはまち・コミでのボランティア活動参加の呼びかけも同時にさせていただいています。授業での現地研修で先生と共に御蔵に来られた学生さんの中には、その後個人的にまち・コミへの参加される学生さんもおられます。

8	9	9	9	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3				
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
25	1	11	28	29	9	19	20	21	28	30	30	1	1	3	19	26	26	2	5	11	12	19	30	17	26	1	10	17	1	5	6	9	12

新潟県糸魚川市立糸魚川東中講演
 墨田区建築士研修受入
 JICAトルコ視察受入
 まち・コミ運営委員会(神戸)
 愛媛県宇和島市講演
 東京都足立区講演
 インドバイオトイレ建設(南インド)2/23
 インドネシア視察調査交流(2/10)
 奈良県大和郡山田市立郡山南中地域研修受入
 るうそく法要

インドネシア被災地視察調査(1/12)
 まち・コミ運営委員会(神戸)
 シアトル古民家移築打合せ(駒澤大西村先生)
 JICA視察受入
 「NGO連携の実践的参加型村落開発コース」
 静岡県立清水南高校中等部修学旅行受入
 修学旅行語り部研修(広島)
 JICA中米視察受入「地域防災対策」
 安山会研修受入

第5回火山都市国際会議島原大会パネル出演
 まち・コミの集い
 被災コミュニティに関する現地調査
 「防災科学技術研究所・阪神淡路大震災の
 神戸まちづくり研究所」
 新潟県柏崎市立剣野小学校修学旅行受入
 市民社会組織との協働関係
 JICAイラク視察受入「地方自治体と
 修学旅行受入(滑川総合高等学校)」
 大真空労働組合「語り部と歩く被災地巡り」
 出石市民農園黒豆収穫・出荷収穫祭
 山鹿市民生児童委員協議会研修受入
 和歌山県日高川町立早稲中学校修学旅行受入
 大阪府職員有志視察受入
 まちづくり支援機構「宮城県災害復興支援土業
 連絡会・神戸被災地視察」受入
 津幡町研修受入
 京都大学防災研究所「世界の災害からの復興
 ロセスを学ぶ」研修受入
 連合愛知有志研修受入
 人と防災未来センター・カルタ会



▲07年12月2日 修学旅行広島研修



▲08年2月10日インドバイオトイレ建設

◆07年8月~12月◆

11月には、まちコミの関係者のみなさまにお集まりいただき、まちコミの今後についてご意見をいただきました。(07年10・11月号参照) 96年4月からまち・コミが活動を開始しました。これまでの活動を今のうちに記録にまとめていくことが必要だろうと、まとめ作業を継続しています。

12月には、修学旅行生への震災学習で語り部として活動している方々と共に、広島へ研修に行きました。話を聞く立場に立つことで、どういった話し方が分かりやすいかなど、自分たちの語り部活動へのヒントを得ることができました。また、語り伝えていくことの大切さも実感しました。(08年5・6月号参照)

◆08年1月~3月◆

インドネシアの被災地やNGOなどの視察や、インドでのバイオトイレ建設事業への参加など、海外で活動する機会を多く持つことができました。

インドのバイオトイレ建設事業は、シアトルへの古民家移築の件でお世話になっている駒澤大学の西村祐子教授が学生に呼びかけて行っておられます。2009年度からはJICAからの承認を受けて、本格的に活動する予定にされています。

インドではバイオトイレ事業の他、国際協力NGO「ソムニード」の和田信明さんにもお会いし、活動の様子を教えてくださいと、地域の課題だけでなくあるものを探ることや、地域活動や人生は、失敗と思っても必ず前に進んでいるので積極的にとらえる等、今後のヒントをいただきました。



御蔵通6丁目で被災し、御蔵通6丁目で暮らす 本郷 律子 さん

進行性の筋ジストロフィーって言う全身の筋力が無くなる病気なんですよ。握力が右手が5で左手が3くらいなんですよ。だから現在も震災当時も車椅子生活でした。

震災当時も長田区で、兄夫婦と一緒に暮らしていました。震災の時はグラッと揺れた途端にガッと私の体に屋根が倒れてきて、柱がバァーと倒れてきているし、余震がくる度に砂がザァーと中に入ってきて蟻地獄みたいやったんですよ。埋まっていて、病気でなかったら手が動かせてガァーと外に出られたかもしれないですけど、ボソッとはまってしまって、もがいても全然身動きできない状態で、だから「どうするの私？火がくるよ」って思って、外では近所の人「火事や、火事や」って言っているし焼け死ぬのが早いのか、砂がどンドンきて生き埋めになるのが早いのかと思いました。でも砂がガァーと入ってくるし、「助けて」って言うても屋根から砂が落ちてくるから砂が口の中に入ってくるし、「もうあかんわ」と思ってどうしようって思った時に、うちの兄と近所の方々に引っ張りあげてもらったんですよ。確か30分以上は埋まっていたね。その震災の時に乗っていた車椅子も焼けて溶けてしまっていて。震災直後は10日くらいお風呂にも入れなかったんですけど、そんなことは気にならないくらいに放心状態でしたね。突然家や車椅子や家具から何もかもが無くなったのでいきなり異次元に行ったような感じがしました。その後はしばらく区役所に住んだ後に一人で仮設住宅に行き約2年3ヶ月住んでいました。震災後に初めて一人暮らしをしました。

震災を通して、人というのは助け合えば生きていけるのかなって感じました。物がなくても生きていけると感じました。逆に物がないと豊かに生きていけるのかなとも感じました。震災によって色んなダメージは受けましたけど、人の温かさっていうのをすごい感じました。

語り部では震災の話を通し、私のような弱者もいたのよ、障害者もいたのよって、お年寄りの方もいたし、助けて欲しい人はたくさんいたの、あなた達のような若い人たちの力を貸してっていうのを学生のみなさんに言いたいですね。健康で元気であること、五体満足は凄い幸せなんだよっていうことを知って欲しいですね。又、阪神・淡路大震災は町が復興したからそれで終わりではなくて、震災で障害になった方もずっと生き続けなくちゃいけないから、そういう意味では現在もまだ復興は終わっていないということも理解して欲しいですね。学生のみなさんは次の世代を背負ってくれる子たちなので、こういうことは伝えていかないといけない、風化させてはいけないとは思いますがね。特に私が一番伝えたいのは「人を助けるのは人」ってことです。この「人を助けるのは人」ということは震災とか関係なく人間として大事なことなんだよって言うことを一番に伝えたいですね。

【取材 専修大学川島健太郎】



報告：修学旅行への震災学習

11月30日

淡路島 富島地区と野島断層保存館へ
研修に行きました

淡路島にある淡路市富島地区は、阪神・淡路大震災で建物の8割が全半壊の被害を受け、土地区画整理事業が行われた地区です。11月30日に、富島地区でのセミナー「災害復興連続セミナー&復興まちづくり検証フィールドワーク（兵庫県震災復興研究センター主催）があり、まち・コミは語り部さんの研修の一環として参加しました。午前中は室内で富島地区についてのお話があり、午後には実際に富島地区を歩きました。語り部さん達は、地元の方と話をするなど、御蔵と同様に区画整理が行われた地区の現状に、興味を持っていました。

また富島地区の後には、野島断層保存館で語り部をされている城本正守さんのお話を聞き、その後、保存館の他の語り部さんにも加わっていただき、淡路と神戸の語り部さんの交流の場を持ちました。その後、野島断層保存館の見学をし、研修を終えました。他地区の活動を見聞きすることで、その活動を参考にするだけでなく、自分たちの活動の良さに気づくこともできる、いい研修となりました。（戸）

大地のつぶやき

〈 超資本主義の到来かIII 〉

日本の経済を引っ張ってきた自動車業界が世界同時不況のあおりを食って、土砂降りの真っ只中だ。連日ニュースにならない日はない。派遣社員の「派遣切り」と言う嫌な言葉から期間社員の契約更新中止に至るメーカー各社が先を競って公表されている。自動車部品流通業界に身をおく者としてトンネルの中に突入したかのようだ。世界の自動車メーカーがこぞって減収減益の見通しの上、矢継ぎ早に減産や人員の削減を打ち出している。素早い規模の縮小が今取るべき手段であろうが、果たしてそれで己が身を守る最善の策なのだろうか。確かに渦中にあることは十分承知しているので、事業規模の縮小は必要条件かも知れないが、十分条件ではないだろう。弱小企業の経営者として雇用の縮小はギリギリの所まで取るべき手段ではないとの信念は持っている。原油の例を引き出してみると備蓄があるのにタイムラグを置かず値上げに連動した。内需拡大を標榜しながらである。これでは消費者心理に水を差し不安感が増幅し買い控えが蔓延するのも無理ない話だ。

世の中はグローバル化して、アメリカ発の金融危機は深刻の度を増し、一気に世界を駆け巡る。原油価格（WTI一バレル当り）七月に百四十七ドルから十二月には四十五ドルと、わずか五ヶ月で三分の一になってしまった。ガソリン価格が百八十円/リットル超が今や百円/リットルを切ろうとしている。さらに不思議なのはガソリンと軽油の価格差が殆どなくなったことである。腑に落ちない話である。消費者心理の不安を拭えないでいる。

「経済学とは本来人間の持っている欲望を如何にして抑制するかを学ぶ学問である」と聞いたが今一度噛みしめ、グローバルな時代だからこそ新たな価値観を模索し、社会正義とは何かを探し求めなければならぬ。

株式会社兵庫商会 田中保三

まち・コミ活動報告

11/1 ~ 11/30

- | | | |
|----------------------------|--|----------------------------------|
| 11/5 淡水鎮役所視察受入 | 11/22 出石市民農園
(たまねぎ移植) | 11/28 岡山看護学校震災研修受入 |
| 11/9 安城市にて講演(田中) | 11/23 「いま「協同」を拓く2008
全国集会 in 新潟」パネリスト
(田中) | 11/28 長田区役所いきいき部会
出席 |
| 11/12 パイオトイレ勉強会 | | 11/29 應典院講演(田中) |
| 11/13 岡山市立藤田中学校
震災学習受入 | 11/26 山口県曹洞宗宗務所研修受入 | 11/29 出石市民農園
(大根配達、たまねぎ補植) |
| 11/14 UR 都市再生機構(公団)訪問 | 11/26 JICA 研修受入
(神戸まちづくり研究所) | 11/30 語り部研修(淡路島
富島地区と野島断層保存館) |
| 11/19 宍粟市立一宮南中学校
震災学習受入 | | |

ご支援、ありがとうございます。

11/1 ~ 11/30

賛助会員(新規・継続)

井筒たかお(兵庫県) 尾崎裕子(愛知県) 成田千尋(兵庫県) 大島英司(東京都) 松本誠(兵庫県)

寄付

石丸由紀子(東京都)

協力

社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいています。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 来年も、1月17日5時46分を御蔵で迎えます。震災の教訓を生かしたい、年々その思いが深まります(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2008年12月1日発行

編集/発行 まち・コミュニケーション

定価 100円

御蔵事務所 〒653-0014

神戸市長田区御蔵通5-5

TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所 〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所 〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1

専修大学文学部大矢根研究室内

e-mail m-comi@bj.wakwak.com

URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/